

Title	学界の消息
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1912
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.6, No.1 (1912. 1) ,p.167- 169
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19120100-0167

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

せんかの實際問題を研究せんが爲なり

抑も心理上より視たる財政問題に(一)財政上の意識作用と、(二)財政上の感覺作用とあり豫算の分取主義の如きは初めは意識作用なるが習慣の爲無意識作用となり終ると多し故に租税の感覺作用を論ずるに當りて先づ税の性質より始めん納税者は戦時税を平時税よりも軽く感じ、古き税を新らしき税よりも軽く、物税を人税よりも、間接税を直接税よりも、收入税を支出税よりも、富勞税を勤勞税よりも、享樂税を生産税よりも、奢侈品税を必需品税よりも、公平と信ずる税を不公平と信ずる税よりも軽く感ず

又課税の方法に就きて之を論ぜば一年に一回の課税は數回の課税よりも(農民は例外)、一回税務官と交渉するを要する税は數回の交渉を要する税よりも、嚴重ならざる税は嚴重なる税よりも公平なる課税と思ふ方不公平と思ふよりも、又自己の競争者の脱税なき税は脱税ある税よりも軽く感ぜらるゝを常とす

課税以外の事情中の二三を論ぜば經費の不法支出を認めたる時又は自己のみに不利益なる支出ありたりと信じたる場合には租税は重く感じらるべし又官僚跋扈せる場合には民意を尊重する場合よりも重く感ずべし

之を納税者の立場より論ぜば貧困者は富豪より、絶對的費用を多く要する者は然らざる者よりも租税を重く感ずるならん又奢侈的の習慣を有する人は重く感じ公共心の厚き人は軽く感ず借財の返

濟期に迫れる者は重く感じ全體の景氣の長き時は軽く感ず

右の數點を根據として財政を策の最良方針を示せば(一)民意の尊重、(二)公共團體の經費を節減すること、(三)右の結果として減税すること(生産業税を軽くし富勞税及奢侈品税を重くすべし)(四)課税の公平、(五)國民經濟の發達に注意する等即ち是れ也

學 界 の 消 息

日 本

● ヴイルブラント教授の來朝 チイビンゲン大學にて經濟原論、經濟政策、社會主義等の講義を擔任せるヴイルブラント教授は過般來朝東京に滞在して我國の農業信用組合の調査に従事せられつゝ、

ありしが先月下旬開催の社會政策會例會に出席後京都に行き其後二三の都市を遊歴して本月中には英領印度に向け出發さるゝと云ふ同教授は以前哲學を專攻せられたるも其後經濟學研究に身を委ぬるに至りたりと今回の來朝には夫人も同伴せるが夫人も亦哲學者なる由

● 高等商業學校の交換教授 東京高等商業學校及神戸高等商業學校間には銀行、海上保險、倉庫等の商業學分科の擔任教授を交換し一學年に一ヶ月若しくは一ヶ月半程科外講義の委託をなさんとの議起り目下詮議中なるが協約成立次第交換の第一

着として神戸高商の教授内池廉吉氏は東京高商にて其專攻に係る倉庫論に關し數週間科外講義を試みらる筈なりと

● 京都帝國大學の新講師 日本經濟史專攻の瀧本誠一氏は昨秋京都帝大の囑託を受け其專攻學科を講義せられたり

● 財部靜治氏の留學 京都帝國大學助教なる同氏は今回統計學研究の爲め獨逸に遊學せられたり

● 統計集誌の改良 東京統計學會の機關雜誌なる同誌は高野博士主管の下に一大改良を加へ本年一月より科學的統計雜誌として發行すると云ふ

● 法科大學の新研究室 東京帝國大學法科にては今回擴大完備の研究室を新設し高野、ヴェンチヒ兩教授監督の下に統計學及び經濟學の研究の便を計ることゝなれり

● 堀江博士の著述 慶應義塾大學教授堀江博士は目下「中央銀行論」の著述に従事されつゝあり載する所は主として日英獨佛の中央銀行に關する博士

